きぬ・こかい新聞

発行
国土交通省
下館河川事務所
きぬ・こかい情報発信局

〒308-0841
茨城県筑西市二木成1753
TEL 0296-25-2161
HPアドレス
http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/

関東地方整備局事業評価監視委員会が開催されました

関東地方整備局では、平成二十二年二月二十四日事業評価監視委員会を開催しました。

委員会では、事業の透明性・効率性の向上を図るため、完了した事業について確認を行い必要には応じて事業の効果等について改善措置を検討するとともに、事業中のものについては、「事後評価」と「再評価」を実施し、必要に応じて事業の継続の妥当性について審議を行うほか、事業内容の見直しを行うこと、としています。

維持管理費のコスト縮減と刈草の有効活用

下館河川事務所では、堤防の危険箇所の点検や発見を容易にし、堤防の異状を早期に発見するなど、安全を確保するための堤防管理に発生する刈草を定期的に実施しています。その刈草は処分場等で処分すると多大な費用がかかるほか、二酸化炭素の排出にもつながるため、集草した刈草を一般の方々に無償で提供する取り組みです。

そこで、維持費用のコスト縮減と刈草を資源として活用していただくことを目的に刈草の無償提供を行いています。

ご希望の方は、左記の申し込み・問い合わせ先へお連絡下さい。

なお、事務所HPにも情報を掲載致しますのでご覧下さい。

★【申し込み・問い合わせ先】
下館河川事務所管理課
担当　枝川・石井
住所　茨城県筑西市二木成一七五三
電話　〇二九六（二五）二一六九

★【応募締め切り】
平成二十二年四月十六日（金）
ただし、引き取り希望量が提供見込み量に達しなかった場合は、引き続き受け付けます。

鬼怒川堤防の除草状況

事務所 HP

堤防刈草の無償提供

【小貝川の例】

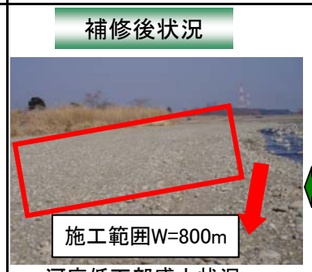
歩きやすく、車いすも利用できる散策路を整備

【鬼怒川の例】

礫河原を再生

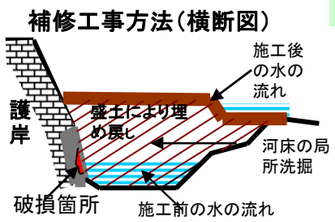
氏家管内の補修工事が完了しました

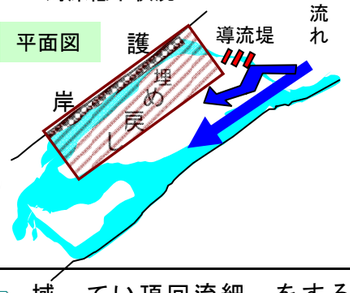
栃木県宇都宮市白沢地先（鬼怒川右岸）において、河床洗掘により洪水時に破損した護岸（カゴマット）箇所について、被害及び保護の緩和するため盛土による拡大防止対策として盛土箇所に導流堤を設置し、流水の勢いを緩和するとともに、盛土の導流堤の効果等について確認を行い必要には応じて、事後評価を実施し、今回の工事完了により、護岸にあたる流水の安全性が向上しました。



補修後状況
河床低下部盛土状況

補修前状況
河床低下状況



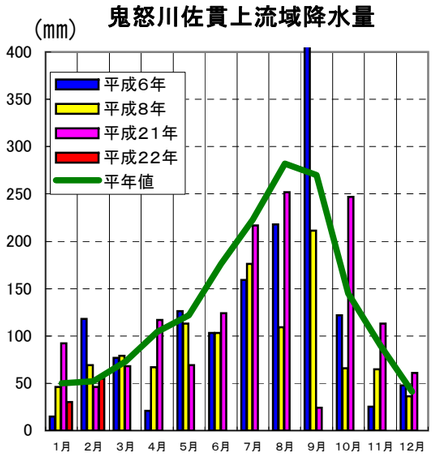


鬼怒川流域の水資源状況

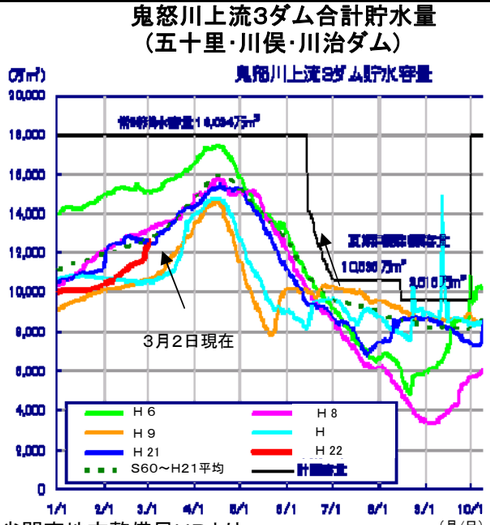
本格的な水需要期を前に鬼怒川流域の水資源状況をお知らせします。

鬼怒川上流三ダム貯水量は三月二日現在、一億二千五百八十三万トン、貯水率七十％と平年の九十九％となっています。

また降水量は一月は平年の六十％でしたが二月は、月末に降雨があり平年の百六％と回復致しました。



注）平成6年・8年は渇水年
平年値はS47～H21平均



国土交通省関東地方整備局HPより

鮭の稚魚放流会

二月二十一日十時から勤行緑地公園（五行川）において、しもだて紫水ロータリークラブ主催、筑西市、NPO法人未来につなごう鬼怒川・小貝川の会・NPO小貝川プロジェクト二十一共催により鮭の稚魚放流が実施されました。

当日は約五百名が参加、二万匹の鮭の稚魚を放流しました。また「安全できれいな小貝川、子ども達が大人になっても鮭が帰ってくる川」であってほしいと河川清掃も併せて行いました。

稚魚の放

クリーン作戦

鬼怒川本流　三月一日よりヤマメの解禁

詳細については、栃木県鬼怒川漁業協同組合へお問い合わせ下さい。

栃木県鬼怒川漁業協同組合
栃木県宇都宮市柳田町一二六〇
TEL　〇二八（六六二）六二一一

鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議「幹事会」開催

平成二十二年二月十日茨城県県西生涯学習センター（筑西市）にて鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議「幹事会」を開催しました。

当会議は、鬼怒川及び小貝川流域の二十四市町及び茨城県・栃木県・国土交通省で組織し、河川空間の適正な保全と利用を図ることに共に、両川を介した地域の交流を促進することにより流域の好ましい地域づくりを目的としています。

今年度から、流域の特性を生かした細やかな意見交換や活動が出来るように、流域を四ブロックに分け活動を開始し、今回は各ブロックから活動経過の報告をしてもらいました。又、地域で活発に活動されている二団体の代表者から日頃の活動について講演をして頂きました。

今後も、地域の特性を活かし、更なる地域の活性化を目指します。

鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議幹事会

講演会　左：花と1万人の会会長　飯島氏
右：とち木の会事務局長　高橋氏